

令和5年度 六大学との連携事業一覧(その他)

本表の並び順について

「大学」(足立区での開設順) 放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学
 「主な対象者」(年齢を基準に区分) 幼児 小中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民 など ※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加人数	
1	実習生受入	東京未来大学	大学生	心理実習(障がい福祉センターあしすと)	こども心理学部こども心理学科	石倉篤心理臨床センター特任講師	公認心理師資格取得に向けた見学実習。	対面	7/14	25	
2			—	障がいのある方の運動・スポーツ教室	こども心理学部こども心理学科	藤後悦子教授	スポーツを通じた障がい者理解を進めるため、障がいのある区民を対象として区が実施している軽運動やサッカーの教室へ、藤後教授のゼミ生に体験参加いただいた。	対面	10/21	14	
3		帝京科学大学	大学生	看護実習	医療科学部看護学科	—	地域包括支援センターで臨地実習	対面	8/28~31、2/13~15、2/27~29	6	
4				実習	医療科学部看護学科	—	在宅看護学実習Ⅰ	対面	2/13~16	6	
5				社会福祉士実習	医療科学部医療福祉学科	—	地域包括支援センターで臨地実習	対面	10/13、16、19、20、23、25、27、30、11/21、28、12/1、5	2	
6				社会福祉士実習	医療科学部医療福祉学科	—	社会福祉士としての必要な知識及び技術について理解を深めるための実習。	対面	10/2~10/30	1	
7				インターンシップ	生命環境学部アニマルサイエンス学科	—	生物学や飼育を専門にしている学生に、キャリアアップのための実践的な飼育や解説体験を実施。	対面	8/1~8/16	1	
8				高齢者	在宅看護実習	医療科学部看護学科	福井郁子講師	地域包括支援センターを利用する生活者を理解し、多職種と連携・協働しながらその人々を支援する各専門職の役割を学ぶ	対面	2/13~15、2/27~29	2
9					相談援助実習	医療科学部医療福祉学科	一色哲教授/宮本佳子講師	相談援助実習(社会福祉士課程)及び実習報告会	対面	8/16~9/19、1/20	1
10		文教大学	大学生	教育実習	人間科学部	—	社会福祉士資格取得に向けたソーシャルワーク実習。	対面	8/21~9/22	—	
11			—	臨床心理実習	人間科学部臨床心理学科	—	大学院生2名をチャレンジ学部での実習生として受け入れ。	対面	通年	2	
12		東京未来大学/文教大学	大学生	インターンシップ事業	こども心理学部こども心理学科/人間科学部臨床心理学科	—	主に大学3年生を1週間程度、各所属に派遣し、仕事体験してもらう。足立区の職場を体験し、働くイメージをもってもらうことで、足立区の入居希望者を増やすことが目的。	対面	8/21~9/15	8	
13		東京未来大学		保育実習	こども心理学部こども心理学科	—	保育士免許取得のための実習。	対面	8/31~9/15	24	
14		帝京科学大学/文教大学		学芸員実習	生命環境学部自然環境学科/国際学部国際観光光学科	—	博物館に必要な展示やプログラム作成に対する講習や、生物飼育など複合的な講習や体験を実施。	対面	8/19~29	4	
15		東京未来大学/文教大学		心理実習(子ども家庭支援センターげんき)	こども心理学部こども心理学科/人間科学部臨床心理学科	—	学部生をこども支援センターげんきの見学実習生として受入れ。事業概要を説明した。	対面	6/21	29	
16	東京藝術大学	大学生		新入生オリエンテーション	音楽学部音楽環境創造科	—	音楽環境創造科の新入生に対して、足立区の魅力やトラスト等の制度について解説。	対面	4/4	50	
17	東京未来大学	大学生	地域連携Ⅰ	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	森下一成教授	実際の地域連携活動に参加し、教室での学びと教室外での実践を通して、課題解決に向けた構想力と実践力の基礎を養うことをねらいとした授業。地域活動への参加として、マッチングしたNPO団体でボランティア活動を行う。	対面	春学期	16		
18			地域連携Ⅱ	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	森下一成教授	実際の地域連携活動に参加し、教室での学びと教室外での実践を通して、課題解決に向けた構想力と実践力の基礎を養うことをねらいとした授業。地域活動への参加として、マッチングしたNPO団体でボランティア活動を行う。	対面	秋学期	3		
19			まちづくり論	モチベーション行動科学部モチベーション行動学科	森下一成教授	NPO団体がゲストスピーカーとして、自身の活動等について講演。仕事観や地域活動等について学生の学びに寄与する機会として森下一成教授から登壇の要望があり、実施。	対面	5/11、25	—		
20			医療的ケア児の疾患理解とたん吸引について	こども心理学部こども心理学科	小谷博子准教授	こども家庭支援センターげんきの看護師が大学の授業において、医療的ケア児の疾患理解に関する座学、たんの吸引に関する実習を実施。	対面	11/9、10	246		
21	大学授業と連携	帝京科学大学	大学生	帝京科学大学自然環境学科 野外実習	自然環境学科	森長真一准教授	荒川下流域ならではの環境の特性を知り、身近な自然を理解することに繋げることを目的とし、帝京科学大学自然環境学科にて行われる環境野外実習。	対面	7/3	40	
22			母性看護学実習(見学実習)	医療科学部看護学科	藤井美穂子教授	多様性社会推進課長による講義 6回開催 計35名 L・フェスタ(イベント参加、講座聴講) 計19名	対面	11/7~2/22のうち8日	54		
23		文教大学	大学生	公共経営実地演習	経営学部経営学科	新井立夫教授	行政課題の解決提案について、グループディスカッション、担当課への質疑、相談、プレゼンテーションを行う授業。	対面	通年	30	
24				ゼミ活動報告会	国際学部国際観光光学科	海津ゆりえ教授	海洋ゼミナールの2023年度上半期活動報告会。 各班からの活動報告を傍聴。	対面	7/27	30	
25				専門ゼミナールⅠ	国際学部国際観光光学科	海津ゆりえ教授	エコツアーの基礎を学び、フィールドワークを通して、地域デザイン技法を修得する。 ・シティプロモーション課長による講話を実施。	対面	6/22	20	
26				地域調査演習	国際学部国際理解学科	山田修嗣教授	行政職員とのインタビューを通して、地域課題等を考える。 ・シティプロモーション課職員が参加。	対面	11/14	6	
27				地域プロジェクト演習Ⅱ	国際学部国際観光光学科	海津ゆりえ教授	地域づくりに関する課題に対し、解決策の提案をまとめる演習で、課題の提供や地域団体の紹介を行った。	対面	9/21、1/18	28	
28				日本生徒指導学会第24回東京あだち大会	経営学部経営学科	新井立夫教授	生徒指導に関する研究発表会を行うとともに、シンポジウム等を通して生徒指導の実践及び研究に携わる者の交流を図る。	対面	11/4、11/5	500	
29				サービスマーケティング	国際学部国際理解学科	渡邊三津子准教授	大学生が地域のNPO等が実施する活動に参加し、コミュニティをベースとした実際の課題への対処、自らできることを活動を通して学ぶ。	対面	通年	16	

No	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学部	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加人数
30	研修	東京未来大学	—	主任教諭任用時研修	こども心理学部こども心理学科	小林祐一准教授	校内で効果的なOJTを行うために、「コーチングスキル」を習得することを目的とする。	対面	6/29	79
31				第6回1年次(初任者)研修	こども心理学部こども心理学科	小林祐一准教授	「コーチング」についての基本的な理解を深め、日々の児童・生徒への指導に生かすことを目的とする。主任教諭任用時研修で好評だったので、再度依頼した。	対面	10/24	127
32				「子どもとの接し方」～子どものココロを覗いてみよう～	子ども心理学部	藤後悦子教授	あだち放課後子ども教室の安全管理員(以下、スタッフと言う)、及び体験プログラムや見守りのボランティアの方やサポーターの方を対象として、大人に心無い言葉を向けたり、反発するなど、気になる言動をする時の子どもの心理面を学ぶ内容とする。子どもの気持ちを理解することで、子どもと接する大人の心の負担を軽くすることを目的として研修を実施した。対面で実施した後日研修撮影動画をスタッフ限定で配信。	対面	2/16	71
33				「子どもとの接し方」～相手も自分も大切にすることをコミュニケーションのヒケツ～	子ども心理学部	日向野智子准教授	あだち放課後子ども教室の安全管理員(以下、スタッフと言う)を対象に、「アサーティブ・コミュニケーション」と言われる(「アサーション」など他の言い方もある)、相手を尊重しながら自分の思いを伝えるコミュニケーション手法を、理論及び事例を交えたワーク(2～3名)で学んでいただき、見守り活動に活かしていただくことを目的として研修を実施した。	対面	11/30	20
34		帝京科学大学	—	第2回理科安全教育研修会	教育人間科学部学校教育学科	小池守教授	理科教育における安全確保と事故防止対策を目的とする。小池教授は中学校での現場経験があり、教員希望の学生を指導する立場にあるため、依頼をしている。	対面	10/27	35
35		文教大学	—	足立区民生児童委員協議会第三合同視察研修	—	—	民生児童委員として「足立区を知る」をテーマに研修。区の大きな事業である大学誘致に着目し、区内大学の取り組みを学んだり、大学生との交流したりすることで、足立区を再発見する研修とした。	対面	11/16	60
36	—	—	第4回副校長連絡会	副学長兼経営学部長経営学部経営学科	石塚浩教授	毎月の定例校長会資料の内容について理解を深め、副校長間で意見交換を行うことを目的とする。毎回、関係各課から必要な事務連絡を行っていたが、現状を鑑み、「組織マネジメント」の講義をしていただける講師をシビプロモーション課大学連携担当係長に紹介していただいた。	対面	2/20	90	
37	企業等連携	東京未来大学	大学生	東京都住宅政策本部と連携した、都営住宅及び周辺地域の活性化に係る連携・相互協力について	—	—	都営住宅に入居した学生による地域のコミュニティ活動支援に向けた、大学と都の協議の調整を区が行った。	対面	4月～10月	—
38				東京未来大学2023年プレゼンテーションII大会	エンrollment・マネジメント局	キャンパスアドバイザー 田中翔氏・安藤功一氏	東京未来大学の1年生を対象とした「プレゼンテーション」の授業(5クラス200名)において、「大学生地域活動プラットフォーム」に参加している足立ブランド認定企業(16社)を対象としたテーマに沿った企画の、学生たちの発表会。	対面	2/1	200
39		東京電機大学	—	高等教育機関が設置する創業支援施設の運営に対する補助金	研究推進社会連携センター	—	創業期の事業者の自立を支援するため、東京電機大学が平成23年に創業支援施設「かけはし」を設け、運営費を区が補助。	書面	通年	—
40				産学連携技術促進事業 技術相談事業	研究推進社会連携センター	小島芳和産学連携コーディネーター	区内事業者からの技術相談受付け、区内企業訪問、産学連携マッチング等を行う。	対面	随時	46
41		東京未来大学/帝京科学大学/文教大学	大学生	大学生地域活動プラットフォーム	—	—	区内企業の若手経営者と学生のオンライン交流会及び区内企業へのインタビュー。区内企業との商品開発。	対面	通年	91
42	調査研究	東京未来大学	—	冒険あそびに関する共同研究	こども心理学部こども心理学科	横畑泰希准教授	公園あそび(冒険あそび)にて、子どもたちの心理や行動における変化、スタッフの関わり方と子どもの変化の関係について共同研究を行う。また、プレイリーダー養成に関する指導もお願いする。	対面	4/22、9/29、2/24	15
43				さのいこいの森	教育人間科学部幼児保育学科長	本多みどり教授	研究課題「ピオトープと畑の実感把握:幼児に対する環境教育・食育の活性化」を目的に、さのいこいの森にある畑を活用する。	対面	6月～3月	5
44		帝京科学大学	—	足立区の地層の研究	教育人間科学部学校教育学科	植木岳雪教授	区内小学校や公園でボーリング調査を実施し、足立の現在の地形の成り立ちを研究。	対面	通年	—
45				リクガメの消化速度に関する研究への協力	生命環境学部アニマルサイエンス学科	野田英樹准教授	全国のリクガメを飼育している園館で消化速度の一斉調査を行う。生物館はケヅメリクガメのデータを提供。	オンライン	5/23、8/28、11/20、2/20	—